

2.4 Personnel Management 人事管理	2401-2403	HRD	A	A
	2404	HRD/UCS	A	
	2405	UCS	C	
	2406	UCS/PRV	A	
	2407-2408	HRD	A	
	2409	HRD	B	
	2410	HRD	A+	
	2411	UCS	A+	
	2412	HRD	A	
2.5 Compliance コンプライアンスの確保	2501-2506	COO	A	A
	2507	PRV	A	
	2508	PRV/DFA	A	
	2509	PRV/DFA	A	
	2510-2511	PRV	A	
2.6 Information Disclosure and Public Relations 情報公開及び広報活動	2601	COO	A	A
	2602-2604	CPR	A	
	2605	CPR	A+	
	2606	COO	A	
	2607	CPR	A	

略号

PDT 学長、EVP バックマン首席副学長、ADT 岡本監事、PRV コリンズ・プロボスト、DGS スコグランド研究科長、
DFA プロヒッタ教員担当学監、DOR 山本研究担当ディーン、CPR レイ副学長、COO 吉尾COO、IT ダイスイ副学長、
GCO 松下統括弁護士、DFM 芝田副学長、BFM ガンジロー副学長、HRD 永瀬副学長、UCS トリップ副学長

3 Finance 財務に関する事項	3.1 Finance 財務に関する事項	3101-3102	DOR	A	A
		3103	EVP	A	
		3104	PRV	A	
		3105	PDT	A+	
4 Contribution to Self-sustainable Development of Okinawa 沖縄の自立発展への貢献に関する事項	4.1 Self Sustainable Development of Okinawa 沖縄の自立発展への貢献に関する事項	4101-4105	EVP	A	A
		4106	EVP	A+	
		4107-4111	EVP	A	
		4112	EVP	A+	
		4113-4122	EVP	A	
		4123-4130	CPR	A	
		4131	UCS	A	
		4132	HRD	A	
		4133	CPR	A	
		4134	CPR	D	
4135-4137	CPR	A			
5 University Campus and Community Development; Safety and Environment Protection キャンパス整備・大学コミュニティの形成、安全確保及び環境への配慮に関する事項	5.1 Campus Development キャンパス整備	5101-5102	BFM	A+	A
		5103-5107	BFM	A	
	5.2 Univ. Community and Education/Childcare Services 大学コミュニティの形成、子弟の教育・保育環境の向上	5201-5206	UCS	A	A
		5207-5208	UCS	A+	
		5209	DGS	A	
		5210	BFM	A	
	5.3 Safety 安全確保	5301-5302	COO/PRV	A	A
		5303	BFM	A	
	5.4 Environment Protection 環境への配慮	5401-5402	BFM	A	A
		5403-5404	BFM	A+	
5405		BFM	A		

略号

PDT 学長、EVP バックマン首席副学長、ADT 岡本監事、PRV コリンズ・プロボスト、DGS スコグラウンド研究科長、
DFA プロヒッタ教員担当学監、DOR 山本研究担当ディーン、CPR レイ副学長、COO 吉尾COO、IT ダイス副学長、
GCO 松下統括弁護士、DFM 芝田副学長、BFM ガンジロー副学長、HRD 永瀬副学長、UCS トリップ副学長

第1章 教育・研究

➤ 1-1 博士課程では、授業科目、教育環境、学生支援及び学生の募集についてレビューした結果、A評価とした。

✓ B評価

(1106)

- 大学コミュニティ支援ディビジョンのランゲージ・エデュケーション・セクションとの連携・調整の点で、今年度の実施はかなわず、GAPプログラムの改善を一部延期。

➤ 1-2 研究活動では、学際的研究の推進、研究活動の支援、研究内容・成果の発信・公表についてレビューした結果、A評価とした。

✓ A+評価

(1211)

- イメージング・セクションでは、国内では琉球大学と3件、東京大学と1件（本学主催のJUMPSプログラム）、海外ではミナス・ジェライス連邦大学（ブラジル）、韓国生命工学研究院（韓国）、チューリッヒ大学獣医学部（スイス）とそれぞれ1件、国内の企業と2件の共同研究を実施。
- ドイツ、台湾から2名のインターン、サバティカルとして韓国から教授1名を受け入れ。
- イメージング・セクションのメンバーが著者として10報の論文発表に寄与。

(1215)

- OISTニュースレターを、よりフレキシブルな電子メール・マーケティング・プラットフォームであるクラウドベースのActiveCampaignに置き換え。また、最後のCPR WebサービスであるWebサイト検索は、Pantheonのクラウドホスティングに移行。

➤ 1-3 教員関連では、採用、研究成果レポート、シニアレベルの教員の任用と定年、教員開発及びポストドクキャリア開発についてレビューした結果、A評価とした。

✓ A+評価

(1301)

- 平成30年度に公募した全9分野において、教員19名を新規採用。
- 平成31年度は、第4研究棟が建設中であったため、教員のオフィスや研究室スペースが不足し公募ができなかったため、下記のようなスカウトによる採用活動を実施。
- 著名な科学者をアジャント教員候補者の対象とした、スカウトによる採用活動では、2名にオファー。
- 女性教員を対象としたスカウトによる採用活動も開始。

第2章 ガバナンス及び業務運営の透明性

➤ 2-1 ガバナンス及び業務運営に係る基本的な体制では、基本的な運営、大学院大学の拡充、世界水準に事務組織の構築についてレビューし、A評価とした。

✓ B評価

(2107)

- 今後の予算確保の観点から、内閣府との間での更なる連携の強化改善の余地があり。

(2108)

- 2019年度中には、研究課及び施設管理ディビジョンへのサービス・ポータルのも更なる展開を完了する予定でしたが、現在も継続中。OISTネットワークの再設計は、2名の主要スタッフが退職したことにより遅延。

(2110)

- 重要なシステムへのセキュリティ、耐障害性、可用性を向上させるために、この1年間でさまざまなサービスをアップグレード。但し、人員不足のため一部のサービス向上プロジェクトが完工せず、2020年度にずれ込み。

✓ A+評価

(2105)

- Strategic Planは2019年5月の理事会及び評議員会において強い支持を受け、7月に完成。また、同Planは、2019年11月7日と8日にキャンパスで開催された外部評価委員会において非常に高い評価。

(2113)

- CISOは「情報セキュリティEXPO」及び「AIセミナー」の両イベントで公開プレゼンテーションを行い、模範的な成果。
- OISTに導入されている業界トップのAIセキュリティ・モニタリング・プラットフォームを高く評価され、IBMは「IBM社のグローバル・セキュリティー・チャンピオン」としてCISOを高く評価。

(2115)

- 外部コンサルタントによる情報セキュリティ・リスクアセスメントを実施。その結果を役員、エグゼクティブ・メンバー及び部門の主要ステークホルダーに提示。
- 構造改革を含む情報セキュリティに関する課題の解決に向け合意。

(2117)

- テンユア審査に関する件について、一昨年度より、引き続き那覇地裁に係属中。
- 昨年度提起された雇い止めに関する3件の地位保全の仮処分は、2件について勝訴し、1件は申立人が取り下げし、学園が勝訴した2件のうち、1件は申立人が即時抗告したことにより、福岡高裁那覇支部に係属中。
- 学園に対して、中傷的な記事を掲載した新聞社に対する名誉棄損に基づく損害賠償訴訟を那覇地裁に提起して、係属中。

➤ 2-4 人事管理についてレビューし、A評価とした。

✓ C評価

(2405)

- 担当管理職の変更に伴い、障害を持つ職員及び学生をサポートするネットワークを再構するために、追加の検討が必要。

- ✓ B評価
(2409)
 - 教育研修責任者の離任によりOISTの戦略目標を支援する対面の研修プログラムを再構築する必要がある。
 - ✓ A+評価
(2410)
 - 増え続ける新規入校者と既存の教職員・学生までを対象とした年次必須研修受講率向上に着目し、対前年度比11ポイントの大幅改善。
 - (2411)
 - ランゲージ・セクションは日本語43コース、英語31コースを開催
 - OISTコミュニティのために短期セミナーや言語交流イベント等の多様な学習機会を提供。
- 2-6 情報公開及び広報活動についてレビューし、A評価とした。
- ✓ A+評価
(2605)
 - ソーシャル・メディア用のオリジナルビデオを制作し、投稿の質が向上。
 - 新たにPodcastを開始し、OISTを訪れる著名な科学者や実業家へのインタビューや、学内の科学者へのインタビューを音声でわかりやすく伝達。
 - ソーシャル・メディアは、ますます将来OISTへの進学や就職を望む世代や、産業界などのターゲットに利用されており、こうしたターゲットとの接点を拡大。

第3章 財務に関する事項

- 競争的資金及び寄付金募集活動についてレビューし、A評価とした。
- ✓ A+評価
(3105)
 - 米国にてOIST財団が正式に発足し、適切なガバナンスを整備。日米連携に関わる主要な組織と提携した多様なイベントを通じて戦略的ネットワーク構築を目指し、日本大使館、シリコンバレー・ジャパン、日米カウンスルや米国内の日米協会と協力。

第4章 沖縄の自立発展への貢献

➤ 4-1 発明の同定・特許化推進、共同開発によるR&D関連プロジェクトの拡大及び資金源の多様化促進、起業活動によるスピンオフ企業の育成及びPOCプログラムによる発明の商業化支援などについてレビューし、A評価とした。

✓ A+評価

(4106) プルーフ・オブ・コンセプト・プログラム

- 2件のプロジェクトを採択。
フェーズI：新規素材の分野において1件； フェーズII：再生可能エネルギーの分野において1件。
- 7件のプロジェクトを採択
フェーズI（1件）：新素材の分野； フェーズII（2件）：化学分析、農業の分野
イノベティブ・テクノロジー・リサーチ/ITR（2件）：新材料、診断の分野；
テクノロジー・パイオニア・フェロー（2件）：生物医学研究ツール、廃水処理の分野
- 平成28年度にPOCプログラムが設立されてから、計34件のプロジェクトを支援。

(4112)

- OISTの研究や技術を紹介、共同研究や技術移転に向けて連携を進めるために、企業などと200以上の会議。
- OISTの技術を日立製作所の研究者に紹介するためにTDICと日立は共同でシンポジウムを東京都国分寺市にある日立中央研究所（協創の森）で開催。その結果として、現在OISTと日立は複数のテーマでの共同研究に向けて検討中。
- 実績は下記の通り。
共同研究などのプロジェクト数：23； 秘密保持契約数：18
共同研究などのため獲得した外部資金：1.9億円

✓ D評価

(4134)

- 人的制約により他プログラムに比べ優先順位の低い同クラブの設立見送り。

第5章 キャンパス整備・大学コミュニティの形成、安全確保及び環境への配慮

- 5-1 キャンパス整備について、新マスタープラン及びラボ5のデザインなどに関してレビューし、A評価とした。
 - ✓ A+評価
(5101)
 - 新規マスタープラン設計の公募実施。
 - 実力のある適任なコンサルタントを選定し、第一段階のマスタープランの設計が完成。
 - (5102)
 - Lab5の基本設計を予定通り完了し、その後入札、評価など数々の段階を経て、優秀なデザイン・ビルダーを選定。

- 5-2 大学コミュニティの形成及び子弟の教育・保育環境の向上についてレビューし、A評価とした。
 - ✓ A+評価
(5207)
 - 沖縄のインターナショナル・スクールに関する情報を様々な方法で公表。
 - OISTウェブサイト内におけるスクール・オプションに関するページの作成。
 - エデュケーション・コーディネーターとリソース・センターは、関心のある保護者を対象とした地元の学校及びインターナショナル・スクールへの訪問を主導。

- 5-4 環境に配慮した事業の実施についてレビューし、A評価とした。
 - ✓ A+評価
(5403/5404)
 - 非常に多くの造成工事が行われたにもかかわらず、多数の貯水池の建設を含む慎重な保護処置のため、海への赤土流出問題の発生なし。
 - 本学の排水は高品質な処理施設を通して適切に処理され再利用。